

1 単元名『Stage Activity 2 My Hero』

2 単元の目標

(1) 対話の中での質問文を正しく理解し、その答えとして何が述べられているのか、情報を即座に掴んでいる。

【聞くこと】

(2) クラスメートが書いた文章を読み、良い点を見つけている。

【読むこと】

(3) 相手の答えをよく聞きながら、クイズの正解にたどり着くために必要な質問を即興で投げかけている。

【話すこと（やりとり）】

(4) 自分が好きな有名人を知ってもらうため、読み手を意識した、理解しやすい文章を書いている。

【書くこと】

3 指導計画（総時間 2時間 本時2/2）

(1/2)	Step1：対話を聞こう
	Step2：質問の仕方を確認しよう ○My Hero の決定と情報（メモ）の作成 ○英語での問答の仕方やあいづち等の確認と練習
(2/2)	Step3：好きな有名人がだれか質問しよう
	Step4：話したことをふり返ってまとめよう ○My Hero についての英語での問答 ○My Hero についての英文作成

4 本時の目標

○My Hero について、たずねたり答えたりすることができる。【話すこと（やりとり）】

○級友との問答をもとに、My Hero についてまとまりのある英文を書くことができる。【書くこと】

5 小中連携の視点

本単元の題材である My Hero は、小学5年生の外国語教材 We Can! 1 Unit9 「Who is your hero?」で学んできた。その学習内容が本単元の素地となっており、小中の学びの接続が図ることができると考えられる。

小中での共通した取り組みとして、CAN-DO リストの有効活用を推進するが、今年度は、授業の振り返りの場面で CAN-DO リストの活用を習慣化することを目指す。次年度以降は CAN-DO リストの活用の在り方について小中での連携を深め、小学3年次から中学3年次までを見通した CAN-DO リストやそれに基づくカリキュラム作成へとつなげていきたい。

## 6 教材観

本単元では、Unit9 までの学習内容を統合した活動を行う。活動内容としては、4 技能のうち、「話す」と「書く」に焦点を当てながら、前半部分では「あこがれの人についてたずねあい、説明しあう」活動を、メモを参考に行う。後半部分では「自らが話した内容を振り返り、文章で新聞形式にまとめる」活動を行う。「話す」部分では、メモを活用しながら即興性を意識し、「書く」部分では、つづりや文法の正しさを意識して行わせることで、生徒の実態に焦点を当てながら、本事業の目的達成に向けた実践を行う。

## 7 生徒観

本学級の生徒は、英語でのやりとりを続け、英語での対話を楽しもうとする姿勢は多く見られるが、発話における即興性や文法の正確さに課題があり、帯活動で復習を行う際の修正に時間を要する。また、学力テストでは県平均比で本学級が+8.4 (学年が+6.1)、定期考査においても学年平均を上回る学級である。しかしながら個人差が大きく、ペアの組み方によっては、より丁寧な机間巡視が必要になる場合もある。スモールトーク等による発話そのものの経験を増やししながら、自信をもって取り組めるよう指導を継続していく必要がある。

## 8 指導観

本時では、メモを参考にしつつ即興的に質問と応答を繰り返すことで、あこがれの人を探り当てる活動を前半で行い、それらの情報をまとめて文章にし、級友の英文の良いところを共有する活動を後半で行う。

英語によるコミュニケーションには積極的な学級集団であるため、それを生かすためにも、話す場面では話し合いのルールを示す。まずは隣どうしで行い、その後は前後、斜めの生徒どうしでクイズを行う。また、何とか英語でのやりとりを持続できるよう支援し、スムーズな活動を促す。

終末の書く場面では、時間を要する生徒もいることが予想されるが、机間巡視や授業後半部の振り返りにより、つづりや文法における習熟度を高めていく。巡視の際には、時間内に正しく書くことを意識して指導するが、共有する際には、よくできた部分に目を向け、全体での賞賛の場とする。

## 9 本事業の目的との関連

- (1) 生徒の「話す」「書く」力を中心とした英語4技能の育成を図る。
- (2) 「～英語による発信力の強化を目指して～」を共通テーマとして授業実践を行う。

10 学習過程

	学習活動・内容	形態 (時間)	○指導上の留意事項 評価規準【観点：評価方法】
導入	<p>1 Greetings</p> <p>2 Review (1) Warm up : Small Talk T : Who is my hero? Can you guess ? S : Is it a man? T : Yes, it is. S : What does he do? T : He is a famous soccer player. S : Why do you like him? ...</p> <p>(2) どんな質問が出たか、全体で確認する。</p> <p>3 本時の目標を確認する。 「My Hero についてたずねあい、読み手に伝わるように英文にまとめよう。」</p>	<p>(1)</p> <p>一斉 (5)</p> <p>一斉 (5)</p> <p>一斉 (1)</p>	<p>○英語学習の雰囲気を醸成する。</p> <p>○教師とのインタラクションにより、教師の”My Hero”についてやりとりを行うことで前時の学習内容を振り返る。</p> <p>○Tool Box も含め、話し合い活動で使う表現となるため、全体での確認後、手書き黒板で表示して反復練習する。</p> <p>○Can-Do を掲示し、確認させる。</p>
展開	<p>4 Step3 好きな有名人について問答する。 ・目的、場面、状況：これまでの学習の振り返りとして、自分があこがれる有名人について、たずねたり伝えたりして会話を楽しみ、まとまりのある英文を書く。 A : Who is my hero? Can you guess? B : Is it a man? A : Yes, it is. B : What does he do? A : He is a singer. B : What song does he sing? A : He sings Sakura. B : Well, is he Ryoma? A : That’s right.</p> <p>5 Step4 話したことを振り返ってまとめる。 (1) 例文を参考に、英文の構成について確認する。 (2) 自分のメモや、やりとりした内容を参考に英文を書く。</p>	<p>ペア (10)</p> <p>一斉 (15)</p>	<p>○デジタル教科書の導入ムービーを見せることで、本時の目標と内容について確認する。</p> <p>○前時に作成したメモを見ながら、4人グループでやりとりを行わせる。英語でのやりとりが行えるよう支援する。 My Hero について、たずねたり答えたりすることができる。【思考・判断・表現：観察】</p> <p>○巡視しながら質問を受け付け、支援する。</p> <p>○教科書の構成例の通りでなくてもよい。</p> <p>○教師の作成例も掲示する。 My Hero について、まとまりのある英文を書くことができる。【知識・技能：ワークシート】</p>
終末	<p>6 全体での共有と学習の振り返り T : This is ~’s hero. Let’s read these sentences. ... who is this?</p> <p>7 授業のまとめと次時の予告 ・My Hero のクイズで友達のヒーローを当てられた。 ・質問された意味が分かった。 ・質問に答えることができた。 ・My Hero を紹介する文をしっかりと書けた。 ・他の人が書いた文が理解できた。</p> <p>8 Greetings</p>	<p>一斉 (10)</p> <p>一斉 (2)</p> <p>一斉 (1)</p>	<p>○生徒は、自分が書いたワークシートの写真を撮って、オクリンクで提出する。画面で共有し、どこが良かったか、何が伝わったかを問う。</p> <p>○Can-Do リストにより自己評価をさせる。</p>

※Stage Activity2 My Hero 単元の評価規準例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>[知識] Unit9 までの学習事項 (Stage2 における使用文法：三人称単数現在、代名詞および Grammar for Communication3 疑問詞) の形・意味を理解している。</p> <p>[技能] Unit9 までの学習事項 (Stage2 における使用文法：三人称単数現在、代名詞および Grammar for Communication3 疑問詞) の理解をもとに、好きな有名人についての対話を聞き取る技能を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話の中での質問文を正しく理解し、その答えとして何が述べられているのか、情報を即座に掴んでいる。</li> <li>部分的な聞き取りではなく、対話の流れに沿って重要な情報をひろい、整理している。</li> </ul>	<p>これまで学習した疑問詞や代名詞に注意を払い、聞こえてくる対話から、できるだけ多くの情報を聞き取ろうとしている。教師の問いかけを聞き取り、積極的に応答しようとしている。</p>
読むこと	<p>[知識] Unit9 までの学習事項 (Stage2 における使用文法：三人称単数現在、代名詞および Grammar for Communication3 疑問詞) の形・意味を理解している。</p> <p>[技能] Unit9 までの学習事項 (Stage2 における使用文法：三人称単数現在、代名詞および Grammar for Communication3 疑問詞) の理解をもとに、好きな有名人についての紹介文を読み取る技能を身につけている。</p>	<p>クラスメートが書いた文章を読み、良い点を見つけている。</p>	<p>書き手の伝えたいことを読み取ろうと努め、読んだ内容について、自分の意見や感想を積極的に伝えようとしている。</p>
話すこと [やりとり]	<p>[知識] Unit9 までの学習事項 (Stage2 における使用文法：三人称単数現在、代名詞および Grammar for Communication3 疑問詞) の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] Unit9 までの学習事項 (Stage2 における使用文法：三人称単数現在、代名詞および Grammar for Communication3 疑問詞) の理解をもとに、好きな有名人について質問したり答えたりする技能を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の答えをよく聞きながら、クイズの正解にたどり着くために必要な質問を投げかけている。</li> <li>スムーズなやり取りになるよう、あいづちやつなぎの言葉を効果的に使っている。【→第2時 STEP3】</li> </ul>	<p>どのような質問をすれば求められる答えにたどりつくかを考えながら、疑問文をお互いに積極的に投げかけ、相手の好きな有名人を当てようとしている。</p>
書くこと	<p>[知識] Unit9 までの学習事項 (Stage2 における使用文法：三人称単数現在、代名詞および Grammar for Communication3 疑問詞) の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] Unit9 までの学習事項 (Stage2 における使用文法：三人称単数現在、代名詞および Grammar for Communication3 疑問詞) の理解をもとに、好きな有名人について正確にまとまりのある文を書く技能を身につけている。</p>	<p>自分が好きな有名人を知ってもらうため、読み手を意識した、理解しやすい文章を書いている。</p>	<p>どのような文章構成にすれば読み手が理解しやすいかを考え、クラスメートのアドバイスをもとにより良いライティングへと改善しようとしている。</p>

(ワークシート①) My Hero の情報メモ (英語で)

(あなたの名前) \_\_\_\_\_

“My Hero” ‘s name	
He / She is a …	
He / She does…	
From…	
Age…	
Birthday	
Tall	
Good at	
Why do you like him / her?	
What’s special?	

(ワークシート②) STEP4 話したことをふり返ってまとめよう。

名前、職業など	
特徴やよさ	
自分の気持ち	


Check Can Do

😊 😊 😐 😞 のどれかをマルで囲みましょう。

	My Hero について、た ずねたり答えたりする ことができる。  話すこと (やりとり)	My Hero について、ま とまりのある英文を書 くことができる。  書くこと	My Hero についての質 問と、応答を正しく理 解することができる。  聞くこと	クラスメートが書いた 英文を読み、良い点を見 つけることができる。  読むこと
1時間目	😊 😊 😐 😞	/	😊 😊 😐 😞	/
2時間目	😊 😊 😐 😞	😊 😊 😐 😞	😊 😊 😐 😞	😊 😊 😐 😞

○できた (わかった) こと	
○大変だった (難しかった) こと	